

科目名	言葉						
	【卒業必修】 【保育士必修】 【幼稚園教諭二種必修】						
授業形態	演習	学年	1年	開講時期	後期	単位数	1単位
担当教員	梅田 優子						

内容および計画	<p>現在の幼児期の教育の基本である遊びを通しての総合的な指導のあり方の大切さを確認すると共に、幼稚園教育要領と保育所保育指針及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「言葉」の考え方と内容を理解する。</p> <p>乳幼児期における言葉の発達は「話す」「聞く」の獲得が中心となり、それは子どもにとって身近な大人とのコミュニケーションによって育まれていく。そうした育ちを手助けする保育者としてのあり方について考えていく。また、幼児期の子どもの「読む」「書く」への関心の芽生えやその際の援助のあり方について学ぶ。さらに、言葉の遅れ等日本語でのコミュニケーションが難しい子どもに出会った際の援助のあり方についても、事例を通して具体的に考えていく。</p> <p>また、言葉に出会い、楽しむことができる環境としての絵本等の児童文化財などについてもとりあげ、保育の場面で活かして指導していくことができるようにする。</p>
1	幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「言葉」
2	乳児期の言葉の獲得と援助
3	保育の場における児童文化財等の意義や役割
4	児童文化財や教材の作成
5	幼児期前半の言葉の発達と援助
6	幼児期後半の言葉の発達と援助
7	作成絵本等による模擬的保育場面における指導法の体験的理解(学生グループ1)
8	作成絵本等による模擬的保育場面における指導法の体験的理解(学生グループ2)
9	幼児期の「読む」「書く」ことへの興味や関心の持ち方
10	幼児期の「読む」「書く」姿への援助として大切なこと
11	作成絵本等による模擬的保育場面における指導法の体験的理解(学生グループ3)
12	作成絵本等による模擬的保育場面における指導法の体験的理解(学生グループ4)
13	乳幼児期のことばの未熟さや遅れについての理解と援助
14	作成絵本等による模擬的保育場面における指導法の体験的理解(学生グループ5)
15	乳幼児期の言葉の発達を支える保育者の指導について(まとめ)

教科書	タイトル	『保育内容「言葉」』		
	著者名		出版社	大学図書出版
	ISBN		発行年	
	タイトル	『幼稚園教育要領解説』		
	著者名	文部科学省	出版社	フレーベル館
	ISBN		発行年	
	タイトル	『保育所保育指針解説書』		
	著者名	厚生労働省	出版社	フレーベル館
	ISBN		発行年	

参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領 平成29年告示 文部科学省 ・保育所保育指針 平成29年告示 厚生労働省 ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領 内閣府・厚生労働省・文部科学省 ・大久保愛著「幼児言語の発達」東京堂 ・やまだようこ「ことばの前のことば」新曜社 ・岡本夏木著「子どもとことば」岩波新書
-----	---

成績評価	評価方法		割合
	レポート		70%
	模擬授業等レポート		30%

学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領と保育所保育指針及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示されている、領域「言葉」の考え方と内容を理解する。 ・乳幼児期の言葉の発達とその育ちを手助けしていくための、保育者として指導法について考え理解する。 ・絵本作成及び模擬的保育場面の体験を通して、子どもに語りかけることばや指導法についても理解する。
--------	---

先修条件	
その他	第7回、8回、11回、12回、14回の模擬的保育場面は、各回割り当てられた学生が事前に準備し模擬的な保育をおこない、他の学生たちは幼児役となつてのロールプレイングが主となる演習である。そのため、各回の内容は異なることとなるが、その内容については、学生が製作したものや準備したもの等に沿いながら授業を展開し具体的指導をおこなっていく。